

台風11号の出水に備えて

～中筋川ダムでは「洪水貯留準備操作(事前放流)」を実施しています～

中筋川ダムでは、今週末に四国に接近が予想されている大型で強い台風11号による出水に備えるため、7月10日から「洪水貯留準備操作(事前放流)」を実施しています。

※「洪水貯留準備操作(事前放流)」とは

中筋川ダムでは、台風などによる出水時に下流の被害を軽減させるため、ダムに入ってくる水を貯める洪水貯留を行います。

「洪水貯留準備操作(事前放流)」とは、今回の台風のように大雨が予想される場合、事前にダムの貯水位を通常時より低下させ、洪水貯留に使用できる容量を大きくして、台風などの出水に備えるための操作です。

平成27年7月13日

国土交通省四国地方整備局

中筋川総合開発工事事務所

(問い合わせ先)

国土交通省四国地方整備局中筋川総合開発工事事務所

電話:0880-66-2501(中筋川ダム管理庁舎)

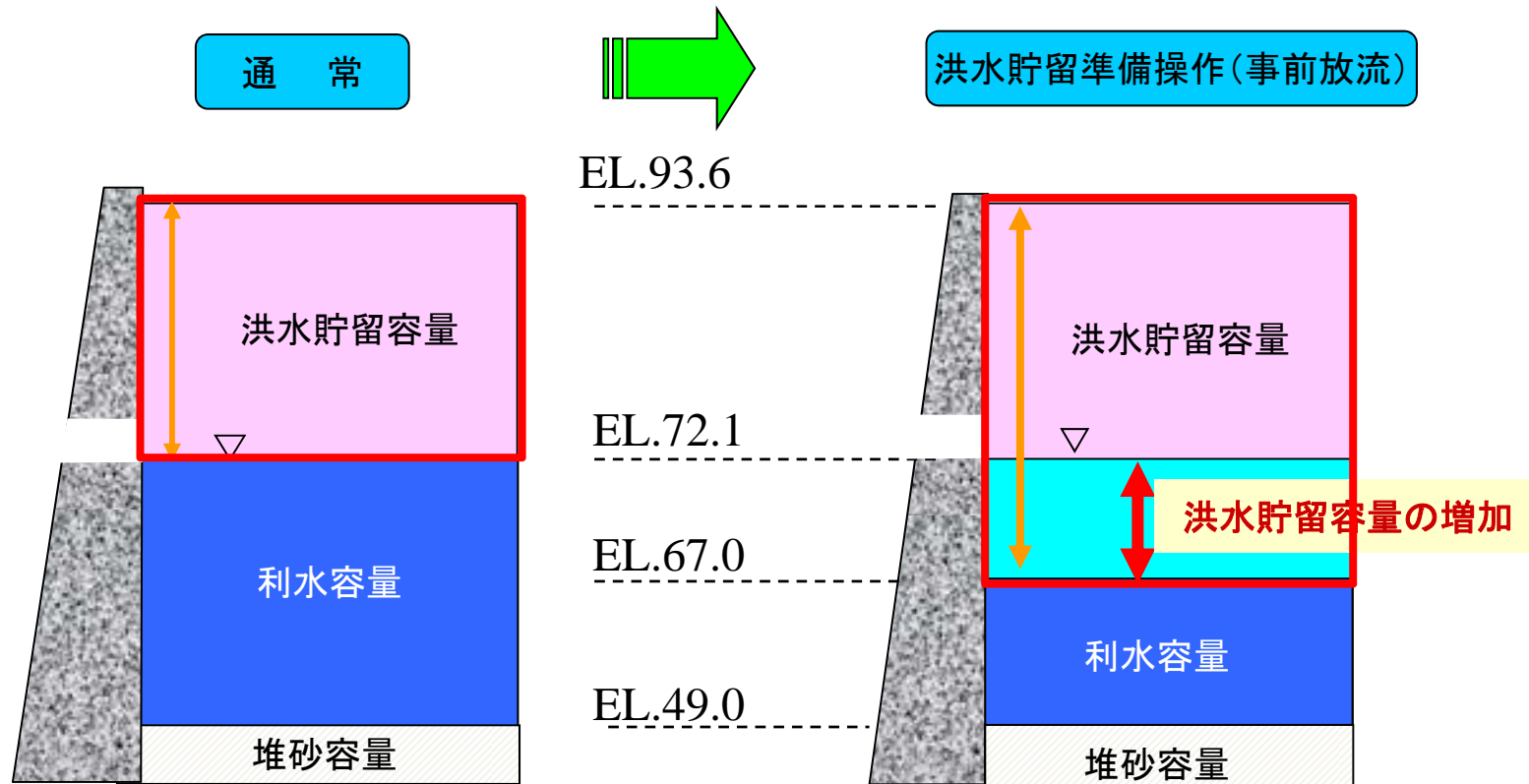
副所長(技術) 坂本 雄彦

○管理課長 山下 正浩

○主たる問い合わせ先

洪水貯留準備操作（事前放流）

通常時の洪水貯留は、貯水位72.1m～93.6mの間で行いますが、洪水貯留準備操作（事前放流）を行うことにより、貯水位を最大で67.0mまで（約5m）低下させ、洪水貯留容量を増加させ洪水対応を行います。



イメージ図